

# 大阪府

## 地域医療構想の推進に向けた 大阪アプローチ

### 大阪アプローチ

圏域ごとのデータに基づく分析をもとに  
公民のイコールフットィングで  
病床機能分化の議論を進める

# 1 構想区域の基礎情報

大阪府は、すべての構想区域(二次医療圏)が「大都市型」で、  
医療を含む都市機能面において、相当の均質性を有する



| 構想区域 | 人口<br>(平成28年) | 市町村数 | 報告対象<br>病院数 | (平成28年度)   |               |     | 報告対象<br>有床診療<br>所 | 医師数<br>(平成28年) | 人口10万<br>対 |
|------|---------------|------|-------------|------------|---------------|-----|-------------------|----------------|------------|
|      |               |      |             | 公立<br>病院※1 | 公的医療<br>機関等※2 | その他 |                   |                |            |
| 豊能   | 1,041,743     | 6    | 43          | 4          | 6             | 33  | 18                | 3,802          | 365.0      |
| 三島   | 747,084       | 4    | 33          | 0          | 5             | 28  | 20                | 2,004          | 268.2      |
| 北河内  | 1,158,727     | 7    | 57          | 1          | 4             | 52  | 36                | 2,689          | 232.1      |
| 中河内  | 839,315       | 3    | 33          | 3          | 1             | 29  | 20                | 1,527          | 181.9      |
| 南河内  | 609,014       | 9    | 33          | 2          | 3             | 28  | 12                | 1,781          | 292.4      |
| 堺市   | 837,603       | 1    | 38          | 1          | 5             | 32  | 24                | 1,967          | 234.7      |
| 泉州   | 902,293       | 12   | 62          | 7          | 2             | 53  | 20                | 1,934          | 214.3      |
| 大阪市  | 2,702,033     | 1    | 178         | 4          | 15            | 157 | 74                | 9,299          | 344.2      |

| 構想区域 | 平成28年度病床機能報告における病床数 |        |       |       |     |           |       |        | 2025年病床数の必要量 |        |        |       |        |
|------|---------------------|--------|-------|-------|-----|-----------|-------|--------|--------------|--------|--------|-------|--------|
|      | 高度急性期               | 急性期    | 回復期   | 慢性期   | 休棟等 | 非稼働<br>病棟 | 未報告   | 合計     | 高度急性<br>期    | 急性期    | 回復期    | 慢性期   | 合計     |
| 豊能   | 1,775               | 3,990  | 966   | 2,057 | 61  | 61        | 373   | 9,222  | 1,436        | 4,044  | 3,577  | 2,421 | 11,478 |
| 三島   | 942                 | 3,214  | 811   | 1,524 | 79  | 79        | 84    | 6,654  | 956          | 2,961  | 2,786  | 2,410 | 9,113  |
| 北河内  | 910                 | 5,442  | 901   | 2,755 | 108 | 108       | 319   | 10,435 | 1,197        | 4,319  | 4,511  | 3,083 | 13,110 |
| 中河内  | 460                 | 3,453  | 624   | 1,051 | 14  | 14        | 276   | 5,878  | 657          | 2,424  | 2,759  | 1,275 | 7,115  |
| 南河内  | 1,029               | 3,030  | 479   | 2,020 | 10  | 10        | 107   | 6,675  | 814          | 2,515  | 1,875  | 1,902 | 7,106  |
| 堺市   | 679                 | 3,560  | 845   | 4,003 | 123 | 123       | 256   | 9,466  | 991          | 3,128  | 2,571  | 3,202 | 9,892  |
| 泉州   | 932                 | 3,265  | 931   | 3,479 | 118 | 118       | 171   | 8,896  | 993          | 2,818  | 2,623  | 2,523 | 8,957  |
| 大阪市  | 5,326               | 15,804 | 2,515 | 7,336 | 296 | 296       | 1,522 | 32,799 | 4,745        | 12,838 | 10,662 | 6,458 | 34,703 |

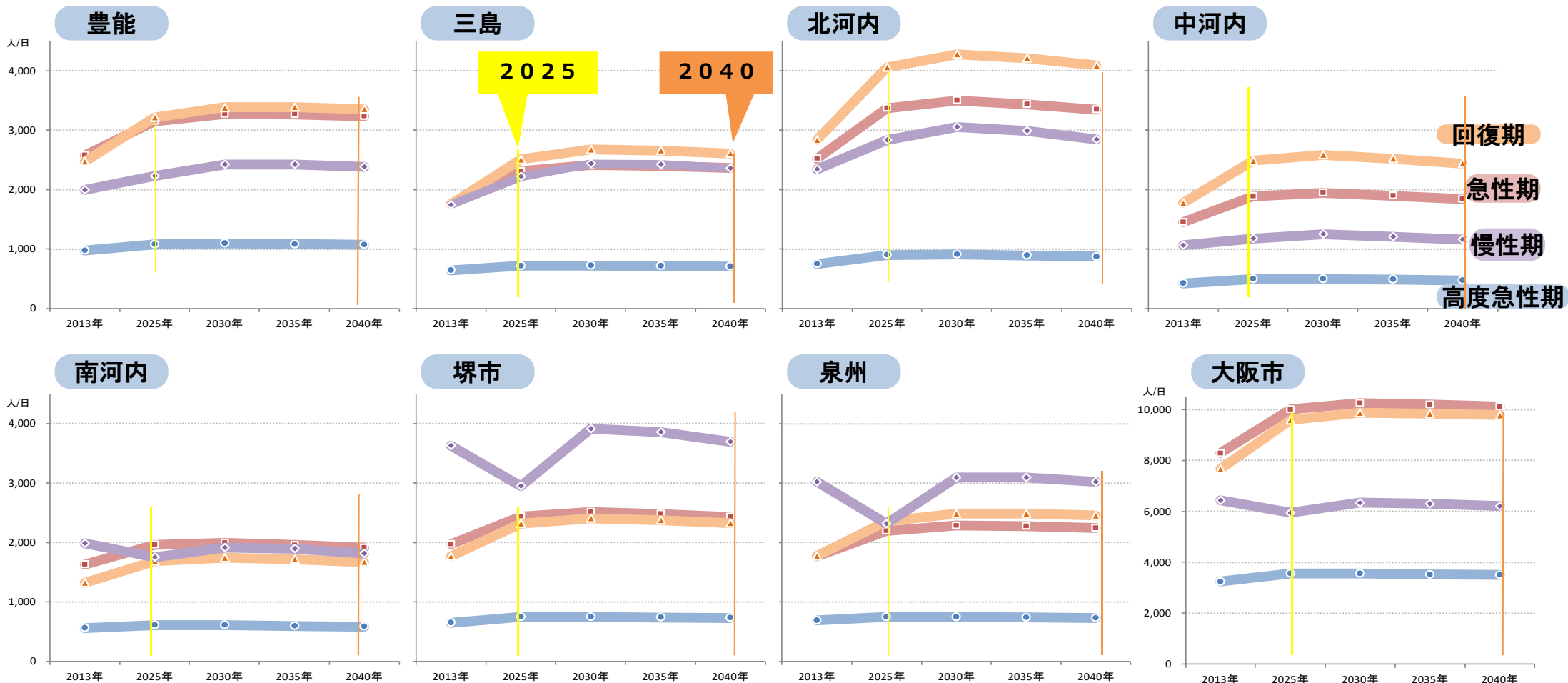
※1  
新公立病  
院改革プ  
ラン対象  
病院

※2  
公的医療  
機関等  
2025プラン  
対象病  
院

## 2 大阪府の特徴

### 大阪府は、今後、医療需要の大幅な増加が見込まれている

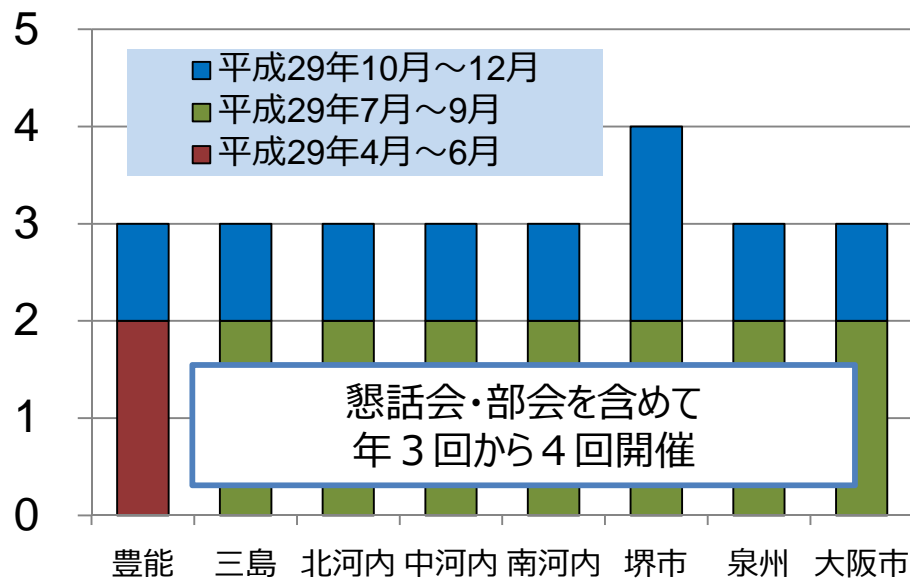
- ◆大阪府は高齢化の進展等に伴い、各構想区域において医療需要は、**2030年ごろまで増加**することが見込まれている。  
2040年ごろでも2025年と同水準で推移。



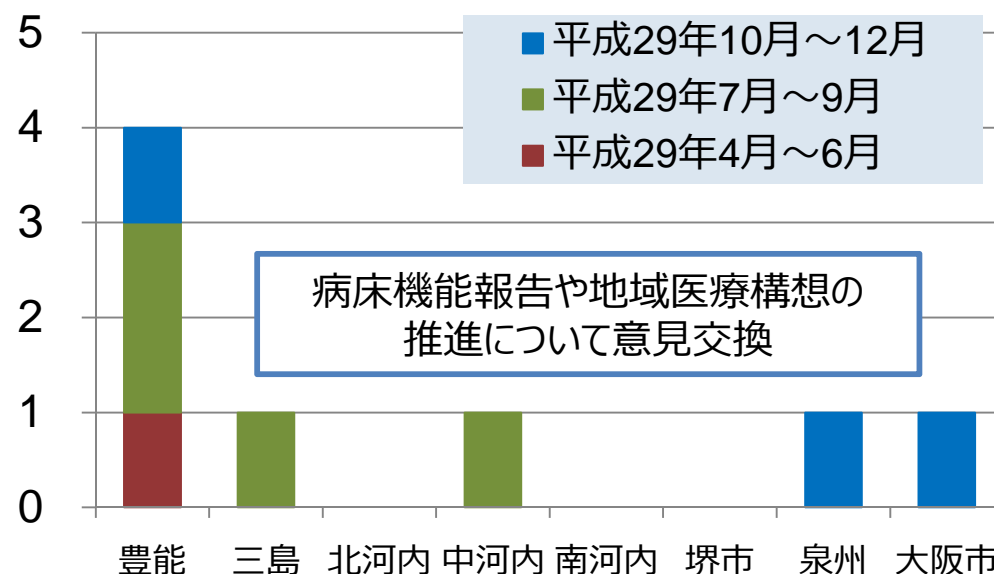
### ③ 地域医療構想調整会議等における議論の進捗状況

病床転換の必要性が明らかでない中で、  
医療機関が納得した自主的な転換まで議論が至っていない

■ 地域医療構想調整会議等の開催状況（平成29年12月末時点）



■ 意見交換会等の実施状況（平成29年12月末時点）



#### ※地域医療構想調整会議や関係機関からの主な意見

##### （病床機能転換）

- ・高齢化が進展し、救急搬送件数の増加が見込まれる等、「急性期」の医療需要は増加していく。
- ・「急性期」の医療需要の増加が予測される中、転換を誘導すべきではない。
- ・経営安定の担保が見えない状況での機能転換はリスクがある。

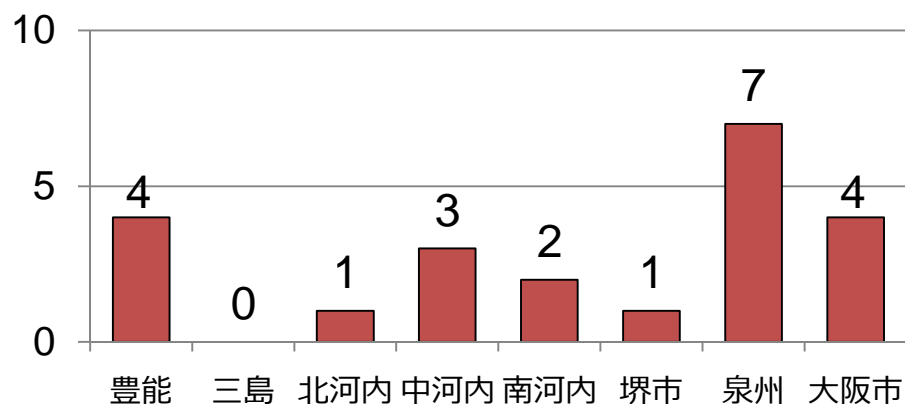
##### （地域医療介護総合確保基金）

- ・急性期機能の確保が必要な中で、病床機能の方向性が見えないことが、基金の執行率の低さにつながっている。
- ・基金の事業区分ごとに執行金額が固定されていては、地域の実情に応じた事業を進められない。弾力化が必要。

## 4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

「公的医療機関等2025プラン」を契機に、府内のすべての病床機能報告対象病院の情報を、公民分け隔てなく整理しデータ化するための調査を実施

■ 新公立病院改革プラン策定対象病院数



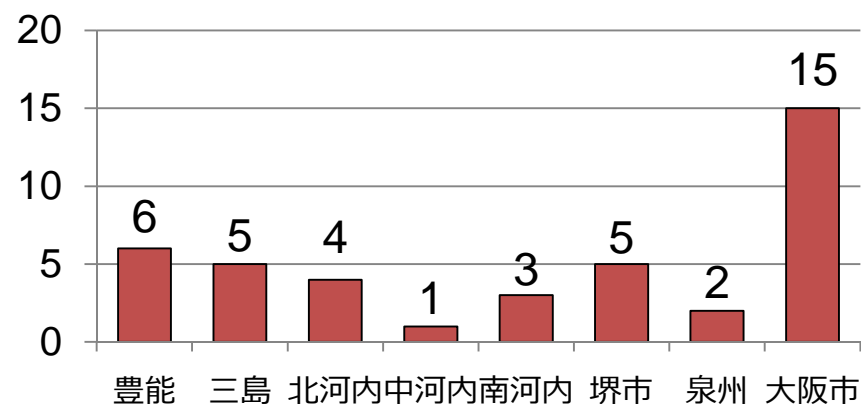
■ 開設者別にみた病院の構成割合（平成28年）

出典：医療施設動態調査



病院の構成割合は、民間病院が約9割を占め、公民一体で取り組むことが鍵。

■ 公的医療機関等2025プラン策定対象病院数



■ これまでの取組と現在の状況

（平成29年9月から平成30年12月）

○公的プランに含まれる「構想区域の現状と課題」について、第7次大阪府医療計画策定のため地域医療構想調整会議で協議した内容を取りまとめ府で作成（プラン策定依頼時に対象病院に提供を想定）。

○構想区域で協議することを前提に、自由記載ではなく、データ化に適したクローズドクエスチョン方式とした大阪独自のフォーマットを作成。

（平成30年1月から3月）

○公的医療機関に対しプラン策定を依頼、あわせてプラン策定対象外の公立病院・民間病院に対し、公的プランと同内容の将来に向けた病院プランに関する調査を実施。

## 5 地域医療構想の達成に向けた基本的な考え方(大阪アプローチ)

医療実態を可視化し、すべての関係医療機関の参画による協議、  
高い納得性のもと、医療機関の自主的な取組みをサポート

診療実態を分析・  
徹底した見える化

STEP 1

構想区域毎にすべての関係医療  
機関参画による分析・協議  
(全病床機能報告全対象病院を対象にした  
「(仮)医療機関連絡会」設置)

「将来のあるべき姿」をとりまとめ  
達成度を測定する指標の設定

STEP 3

地域医療構想調整会議

2025年の  
あるべき姿

STEP 2

公・民分け隔てなく  
「地域の課題」を共有

「病床機能」×「診療機能」

- ・「回復期」(サブアキュート・ポストアキュート機能)を持つ病床機能等
- ・地域で必要となる診療機能(5疾病4事業)

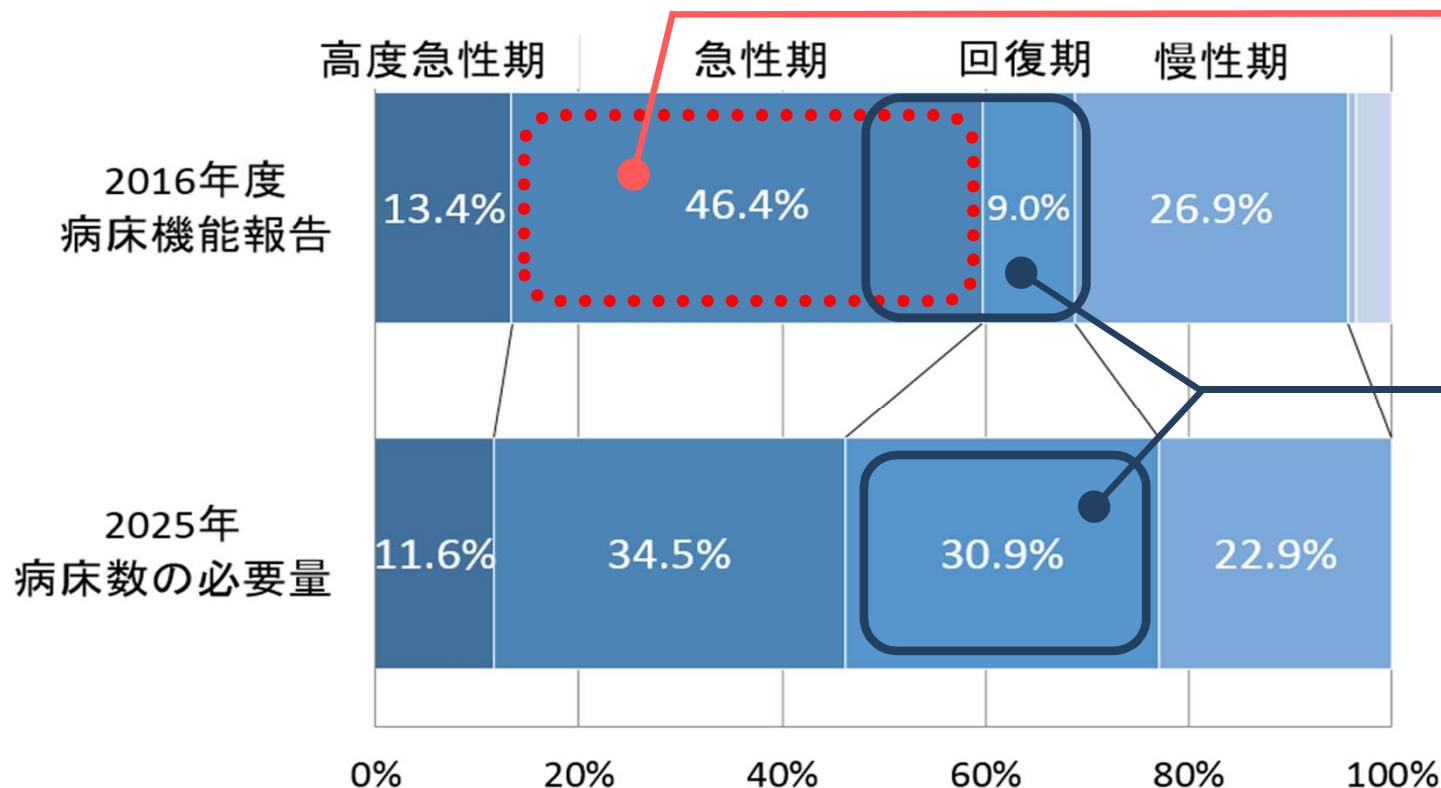
●指標(例)

- 病床機能  
(「病床4機能」「入院基本料」別の病床)
- 診療機能  
(疾病・事業別の流入・流出率、NDB(SCR)等)
- 病床稼働率  
(「病床4機能」別)

## ⑥ 病床機能の確保(大阪アプローチ)

- ▶ 2025年の病床数の必要量の「機能区分別の割合」を病床機能分化・連携を進めていく際の目安として活用
- ▶ 病床の実態を明らかにした上で、病床機能の確保について「既存病床数」・「基準病床数」の中で検討

● 病床機能報告と病床数の必要量の病床機能区分ごとの比較(割合)



**STEP 1**  
診療実態を分析

**STEP 2・3**

- ・回復期機能を提供する病床数を精査
- ・ギャップを埋める方策等を検討



## 7 都道府県としての来年度への抱負

### 地域医療構想調整会議の運営について

- ・ 各医療機関が将来の医療提供体制への対応を検討できるよう、**公民イコールフットイング**で病床機能分化の議論を進めます。

### 医療機関の機能分化・連携の支援について

- ・ 医療機関が、将来特に需要が増加することが予想される回復期機能へ病床を転換する場合、必要な施設の新増改築や改修に係る工事費等に加え、**新たに地域包括ケア病棟への転換に要する人的経費に対しての支援**を検討します。

### 在宅医療等の整備について

- ・ 在宅療養患者の容態急変時に対応可能な医療機関の増加に向けて、**医学生**の職場体験や医師の同行訪問により在宅医療に携わる医師を確保するとともに、**医療機関間の連携体制を構築**することで、府全域の24時間緊急往診体制整備に取り組めます。